

枚方市は、禁野火薬庫が大爆発した日から50年後、そして1954(昭和29)年に第五福竜丸がビキニ環礁での水爆実験で被ばくした日から35年後の1989(平成元)年、3月1日を「枚方市平和の日」に制定しました。市民一人ひとりが平和の大切さを考える日として、毎年、平和の日記念事業を開催しています。



平和の日記念事業
ホームページ

禁野火薬庫大爆発 パネル展

ステーションヒル枚方 6階
男女共生フロア・ウィル
(枚方市駅東改札口東側)

2月21日(金)～3月6日(木)
午前9時～午後5時30分(土・日曜は閉庁)

禁野火薬庫は終戦まで枚方にあった旧陸軍の施設。昭和14年の爆発当時の状況など貴重な記録写真のパネルを展示します。無料。



火薬庫内部の様子
(武沢惣次郎氏提供)

あかり 平和の燈火

ニッペパーク岡東中央
(枚方市駅南口徒歩約3分)

3月1日(土) ※雨天の場合、翌日
キャンドル点灯 午後5時30分～7時30分

平和の願いを含め、約3000個のキャンドルを来場者の皆さんと一緒に灯します。日中は、実行委員の大学生による企画も。無料。

3月1日は、枚方市平和の日
戦争の悲惨さ、平和の尊さを忘れないために。

昭和14年3月1日 午後2時45分 禁野火薬庫大爆発

砲弾解体作業中に発火、大爆発が起こり、午後7時までには29回の爆発を繰り返しました。火災がおさまったのは爆発から2日後の3月3日正午。死者94人、負傷者602人、全半壊した家屋821戸におよぶ大惨事となりました。



爆発後の火薬庫一帯
(橋寺七郎氏撮影)

平和の鐘「ヒラリヨン」

